戸畑中央小　２学期末号

学校だより

発行者　校長　米田敏彦

おもいやり　まなび　げんき

３つの花を、大きくさかせましょう

教育活動へのご協力ありがとうございました

今年は温かな日が続き、ようやく冬の寒さを感じさせる年の瀬となりました。保護者や地域の皆様のご協力のおかげで、２学期も無事終えることができました。修学旅行や自然教室といった各学年の取組、児童会活動としての児童集会等、今学期の教育活動も充実したものになりました。スクールヘルパーの皆様やＰＴＡの皆様による交通指導、各地域見守り隊の皆様のおかげで、安全に教育活動を展開できましたことに感謝申し上げます。

さて、今年も残りわずかです。冬休みには年末年始の手伝いや様々な体験を通した家族のふれあいが期待されます。「早寝・早起き・朝ごはん」や「ケータイ・スマホ夜１０時電源ＯＦＦ」など、規則正しい生活習慣を守らせ、お子様をさらに成長させたいものです。また、ノロウィルスやインフルエンザ等の感染症につきましても注意が必要です。本校では今のところ感染の広がりは見られませんが、冬休みも健康で元気に過ごさせたいものです。

終わりになりましたが、「家庭・学校教育アンケート」へのご協力ありがとうございました。皆様のご意見・ご要望をお聞きしながら、これまでの取組を振り返り、成果と課題を明らかにして、３学期の活動へいかしていきたいと考えています。

本年のご厚情に感謝するとともに、今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

これからも、いじめ撲滅に取り組みます！

本年度も北九州市立の小中学校が一斉に、いじめに関する実態調査を実施しました。

本年度より「いじめの定義」が変更になり、一度でも相手からいやなことを言われたことを、「自分はいじめられた」と感じた児童もいじめとして認知し、継続指導をすることとなりました。昨年度までのいじめの定義は「一方的かつ、継続的（一定期間）にいじめられた場合」でした。

本校でもこの定義に沿って調査した結果、昨年度（２７年度）のいじめ認知件数は０件でしたが、本年度は６件のいじめを認知しています。大半は単発的であり、お互い言い合いとなったが、片方はそのことをいじめられたと感じている場合なども含んでいて、もう既に解決している場合がほとんどです。

しかし、継続指導をしているケースがあるのも事実です。子どもたち、教職員、更には保護者の皆様にとって、最も気になる教育課題はいじめ問題ではないでしょうか。今後も学校と保護者の皆様が連携を取り合い、いじめ撲滅に取り組んでいきたいと思っていますので、何か気になることがあれば直ぐに担任に知らせてください。よろしくお願いします。

みんなで取り組む人権週間

本校では、１２月５日（月）から９日（金）までを人権週間として、お昼の人権放送を行いました。毎年、教育委員会が募集する人権作品を基にした「明日への伝言板」を聴いたり、本校児童の人権作品を朗読したりしました。

各学級でもこれまでのいじめ防止や人権学習の取組に加えて、人権啓発の標語や書写を作成しました。代表作品を集中下足場に掲示しています。また、この機会に、その作品の中から代表児童の作品を朗読で紹介しました。

人権学習は、命につながる学習です。中でもいじめは人として最低の行為です。人権週間だけでなく、いつでも、いじめがどれほど人の心を傷つけてしまうかを考えさせ、いじめを自分たちの周りからなくしていくために、一人一人を大切に思う子どもに育てていきたいと考えています。

※本通信「学校だより」２学期末号は表面のみで発行しています。裏面はありません。